

議題に関する補足説明資料

(本資料は、審議会当日に委員の皆様へ御説明するために作成しました事務局の説明原稿となります。)

1 評価の目的と審議会の皆様方に求める役割について

平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、いわゆる地方創生がスタートしたことに伴い、東金市におきましても、国の各種交付金を活用して様々な事業を推進してまいりました。

この交付金につきましては、それぞれの市町村が事業設計を自由に行うことを可能にするとともに、明確な政策目標の下、客観的な指標の設定やPDCA等の効果検証体制の整備を求めるといった新しいタイプの交付金でございます。

総合計画審議会の皆様方におかれましては、この交付金に対する効果検証を行う組織としての役割をお願いしているところでございます。

2 議題(1) 総合戦略 KPI の令和2年度実績報告及び効果検証

地方創生に係る国の交付金を活用して実施した事業につきまして、その効果検証といたしまして、皆様方からの御評価（5段階）、また御意見等をお願いいたします。

(1) 地方創生関係の交付金について

はじめに、【資料1-1】「地方創生関係交付金の概要（イメージ）」により、地方創生関係交付金の概要から御説明をさせていただきます。

資料の一番左、緑色部分の「基礎交付」につきましては、各団体の人口などに応じて交付されたものであり、東金市では約5,000万円の交付を受けました。その横から、緑色の「上乗せ交付」、オレンジ色の「地方創生加速化交付金」、黄色部分の「地方創生推進交付金」、青色の「地方創生拠点整備交付金」と、これら全ての交付金を受けてまいりました。このうち、「加速化交付金」までは、かかった事業費の100%が国から交付されるものでしたが、今回御審議いただく青色部分「地方創生拠点整備交付金」につきましては、事業費の半分（2分の1）が国から交付され、残りにつきましては市の一般財源を充てて実施するものとなっております。これらの交付金につきましては、これまでの補助金に比べ自由度が高い分、内部の評価だけでなく、外部による効果検証を行うことが求められております。

これを受けまして今回、「地方創生拠点整備交付金」を活用した「6次産業化拠点施設整備事業」につきまして、外部による効果検証といたしまして、皆様方からの御評価、また御意見等を賜りたいと存じます。

(2) 6次産業化拠点施設整備事業の効果検証について

次に、【資料1-2】「地方創生拠点整備交付金事業（令和2年度分） 効果検証シート」をご覧ください。地方創生拠点整備交付金を活用した事業に関するものとなります。

この交付金の対象につきましては、地方創生に資する建物等を建設するためのハード面に係る事業費の半分となるものであり、東金市の対象事業である「6次産業化拠点施設整備事業」の交付額につきましては、4469万1420円となっております。

本事業におきましては、道の駅みのりの郷東金に、6次産業化の推進と交流の促進を図る「加工施設」と地域観光のプラットフォームとして「観光案内所」を整備いたしました。これらの整備の下での地域資源を活用した特産品の創出や、ワンストップによる地域内への回遊の仕組みづくりにより、交流人口の拡大、また農業をはじめとする地域産業の活性化を推進しようとするものでございます。

重要業績評価指標（KPI）につきましては、以下の3項目を設定しております。

① 東金市を訪れる観光客（交流人口）の増加

本市を訪れた観光客数につきましては、目標の153万人に対し、実績につきましては99万9千人となりました。

② 東金市を訪れた観光客の消費総額

消費総額につきましては、観光入込客数に千葉県が示した消費単価を乗じて算出したものとなっており、目標の112億9,800万円に対し、実績につきましては65億5,800万円となりました。

③ みのりの郷東金（直売所）における売上高

直売場の売上げに限定したかたちで設定したものとなりまして、目標の6億4,200万円に対し、実績につきましては6億1,600万円となりました。

これらを受けた内部評価といたしまして、内閣府から示された指標により評価（5段階）を行い、評価の結果を国に報告する必要があります。

今年度につきましては、3つの指標全てにおきまして、実績が目標を下回っており、また、令和2年度中は新型コロナウイルスの感染拡大防止に係る緊急事態宣言などによる影響もあり、3つの指標のうち2つの指標に係る実績が前年の実績を大きく下回る結果となりました。しかし、基準時の数値との比較といたしましては、3つの指標全てにおきまして基準時の数値を実績が上回るとの結果となりました。

これらの結果を踏まえまして、内部評価といたしましては、3番目の「地方創生に効果があった」という評価といたしました。

新型コロナウイルス感染症が社会に与えた影響は非常に大きく、この3つの指標の実績にも大きく影響したものと捉えております。With コロナや After コロナの社会におきましても、この3つの指標の実績の変化につきましては、引き続き注視してまいります。

3 議題(2) 「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における効果検証

「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきまして、掲げた目標に対する効果検証として、計画期間（平成27年度から令和2年度）を通しての皆様方の御意見等を賜りたいと存じます。

(1) 総合戦略について

はじめに、【資料2-1】「東金市版人口ビジョン及び総合戦略（九十九里地域広域連携）の概要」により、総合戦略の概要につきましてご説明させていただきます。

全国的な少子化などにより日本の人口は減少傾向にあり、東金市におきましても例外ではありません。

国の研究機関によりますと、市の人口につきましては、2060年に約34,000人まで減少するとされております。さらに、高齢化により高齢者の人口が現役世代を上回り、今までと同じような行政サービス、社会保障制度が維持できなくなることが想定されます。市としては、2060年に人口約50,000人を維持すること、さらにはバランスの良い世代構成を維持することを目標といたしまして、平成27年度から令和2年度までの6年間で力を入れてやるべきことをまとめたもの、これが「総合戦略」となります（計画期間につきまして、当初は平成27年度から令和元年度までの5か年計画としておりましたが、1年延長し、令和2年度までといたしました。これにより、令和2年度が計画最終年度となっております。）。

この総合戦略では、人口の維持に向けて、「げんきづくり」、「みらいづくり」、「まちづくり」、「しごとづくり」及び「きずなづくり」といった5つの点からアプローチを行い、それぞれ達成するためには何をすれば良いのかといったことを具体的にまとめております。また、言葉だけの目標や施策だけでは進捗状況や達成度が分かりにくいいため、細かな数字で見える目標を設定し、それらの数値がどう変化していくのかについて、把握・整理することにより、この戦略がどこまで進んでいるのかを計ることとしております。

その数値を抜粋して作成したものが【資料2-2】「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略における効果検証」となります。

(2) 「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における効果検証について

【資料2-2】『東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略における効果検証』により、主な施策の達成状況、またその達成状況に基づく総合評価などにつきましてご説明いたします。

◆ 全体の標記について

表左側の基準値欄の数値が総合戦略策定以前の数値である基準値となり、実績といたしまして平成27年度から令和2年度の実績値を記しております。

表の最も右側の達成状況につきましては、これまでの実績を踏まえまして「S」から「D」までの5段階の評価を記載しておりますので目安としていただけますようお願いいたします。

5段階評価の基準につきましては、

- ・ S：目標を大幅に達成
- ・ A：目標をやや超えて達成
- ・ B：概ね目標を達成

- ・ C : 目標をやや下回る
- ・ D : 目標を大幅に下回る
- ・ ー : 目標未設定

となります。

◆ 「(1) げんきづくり for V I T A L I Z A T I O N」について (1 ページ～)

これは、「魅力あるまち」をPRすることにより人を呼び込もうとするものとなります。その達成状況を把握するため数値目標につきましてそれぞれ設定をしております。

主なものとして、基本目標の「人口の社会増」につきましては、総合戦略策定以前の基準値を年間マイナス198人、一番右の目標値として100人と掲げておりましたが、令和2年度の実績といたしましてはマイナス410人となっており、達成状況といたしましては目標を大幅に下回りましたことから「D」といたしました。対照的に、同じ基本目標の「観光入込客数の増加」につきましては、基準値72万人、目標値108万人に対しまして、令和2年度実績は99万9,484人となっており、新型コロナウイルスの感染拡大が大きく影響し、最終年こそ目標を下回りましたが、それまでの実績が目標を大きく上回ってきておりますことから、目標を大幅に達成したということで「S」といたしました。なお、施策2の「移住定住ホームページアクセス件数」につきましては、令和元年度、2年度の実績を「ー」としております。こちらは、平成29年度から30年度にかけて、地方創生推進交付金を活用し、移住・定住に特化したホームページ「TOGANE Life」を運用しておりましたが、交付金事業の計画期間の終了に伴い、平成30年度末をもって閉鎖したものととなります。達成状況につきましては、事業実施期間において、目標を超えるアクセス数がありましたことから「B」といたしました。

これらの達成状況から、2ページに「(1) げんきづくり for V I T A L I Z A T I O N」に係る総合評価を記載しております。

観光入込客数や公共施設の満足度など、目標を上回るものがある一方で、人口の社会増のように、数値の大幅な悪化により目標達成が難しくなっている項目もあることなども踏まえ、全体としての評価につきましては「C」といたしました。

◆ 「(2) みらいづくり for N E X T G E N E R A T I O N」について (3 ページ～)

これにつきましては、子育てしやすい環境を整えることで少子高齢化に歯止めをかけようとするとした視点によるものでございます。

施策1の「保育所の待機児童数」につきましては、基準値6人、目標値0人に対する令和2年度実績は1人となっており、達成状況といたしましては、概ね目標を達成(B)といたしました。一方、基本目標の「合計特殊出生率」、施策2の「婚活支援事業の参加人数」や施策3の「不登校児童・生徒の人数」などの目標につきましては、目標を大幅に下回る(D)といった状況となりました。

これらの達成状況から、「(2) みらいづくり for N E X T G E N E R A T I O N」の総合評価につきましては、目標をやや下回るといった「C」と評価いたしました。

◆ 「(3) まちづくり for COMFORTABLE CITY」について(5ページ～)

これは、住みやすいまちをつくり人が安心して集い暮らせるようにしたいといった視点によるものでございます。

施策3の「交通事故発生件数」や「犯罪認知件数」につきましては、目標を大幅に達成(S)となりましたが、施策1の「JR東金駅の一日平均利用者数」、また施策2の「みのりの郷東金の来場者数(直売所レジ通過者数)」につきましては、目標を大幅に下回る(D)といった状況となりました。

これらの達成状況から、「(3)まちづくり for COMFORTABLE CITY」の総合評価につきましては、目標を達成している項目はあるものの、未達成の項目も多いといった状況も踏まえ、目標をやや下回るといった「C」と評価いたしました。

◆ 「(4) しごとづくり for JOB CREATION」について(7ページ～)

これにつきましては、地域に雇用を創出し働きやすい環境を整えるといった視点によるものでございます。

基本目標の「市内事業所数の増加」につきましては、基準値の2383事業所、目標値の2500事業所に対し、令和2年度の実績値につきましては2703事業所となり、達成状況といたしましては目標を大幅に達成(S)となりました。また、施策4の「看護師養成修学資金貸付制度を利用し、東千葉メディカルセンターに就職した人数」及び「介護サービス施設数」につきましては目標を達成(B)といった状況となりました。

一方、施策2の「創業相談件数」、また施策3の「ワークライフバランスに関するコンサルタント数」につきましては、目標を大幅に下回る(D)といった状況となりました。

これらの達成状況から、「(4)しごとづくり for JOB CREATION」の総合評価につきましては、目標をやや下回るものといった「C」と評価いたしました。

◆ 「(5) きずなづくり for FRIENDSHIP」について(9ページ～)

これにつきましては、周辺地域と連携して地域全体の利便性を高め、人を呼び込もうといった視点によるものでございます。

施策2の「友好都市との交流者数」につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により最終年こそ目標を下回ることとなりましたが、それまでの実績が目標を上回っていることから、達成状況といたしましては「A」といたしました。一方、基本目標である「地域間連携が進んでいると感じる市民割合」につきましては、目標を大幅に下回る(D)といった状況となりました。

これらの達成状況から、「(5)きずなづくり for FRIENDSHIP」の総合評価につきましては、目標をやや下回るといった「C」と評価いたしました。

◆ 「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の全体評価について

上記の(1)から(5)までの基本目標ごとの総合評価を踏まえまして、「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の全体評価を記載しております。評価は基本目標ごとの総合評価に準じて行いまして、全体評価といたしましては「C」(目標をやや下回る)と評価いた

しました。

◆ 新型コロナウイルスの感染拡大による影響について

議題(1)のご説明でも触れましたように、総合戦略に掲げた基本目標や、各種の重要業績評価指標に係る実績におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大が大きく影響を及ぼした状況が見受けられました。With コロナや After コロナの社会におきまして、この実績値の変化につきまして、引き続き注視してまいります。